

SA8000®規格

SA8000®規格は、世界中の工場および組織の主要な社会的認証基準です。認証された組織が、どの産業および国においても、労働者を公正に扱うことにひたむきに取り組んでいることを証明するのに役立つ、包括的フレームワークです。

SA8000 は、職場での社会的説明責任に関して、規格の全分野での継続的な向上を推進する管理システム要素に関連付けられた、重要な 8 つの分野での社会的パフォーマンスを測定します。本規格には、事業の利益を損なうことなく、サプライチェーンにおける社会的コンプライアンスの最も高い質を保証するための厳格なアプローチがあり、ブランドおよび業界のリーダー達から評価されています。

本規格は、世界人権宣言および国際労働機関 (ILO) の規約に含まれる労働規定を反映しています。また、世界中の国の労働法を尊重し、補完し、補助しており、現在、二百万人以上の労働者の倫理的な労働条件を守るのに役立っています。

SAI は、能力開発、ステークホルダーの関与、購入者と供給者の協力、そして継続的な向上を保証するツールの開発を含む、組織が社会的パフォーマンスを維持し持続的に向上するために役立つ幅広いリソースを提供しています。



SA8000®規格の要素

1. 児童労働
2. 強制労働
3. 健康と安全
4. 結社の自由と団体交渉権
5. 差別的待遇
6. 懲戒的な慣行
7. 労働時間
8. 報酬
9. 管理システム

期待される成果

SA8000 認証の認定を得ることにより、組織の SA8000®規格への準拠が 3 年間証明されます。SA8000 認証の認定は、社会的および労働のリスクを解決し予防するための管理システムを継続的に向上させながら、組織が期待される社会的パフォーマンスを守っていることについて、持続的な信頼性のある保証を提供します。

任意規格の一つとして、SA8000 にとって、組織が自身のパフォーマンスを自分のものとして、自身の社会的統制を継続的に監視し向上させることが、最も大切です。認定第三者認証団体による独立した監督により、組織が業務を効果的に管理しているという確信を提供します。

SA8000 認定組織の特徴の一部を紹介します：

- 企画への準拠を維持するためのホリスティックな管理システム
- 労働者の関わりと対話
- 職能上の枠を超えた社内協働
- サプライチェーンでの協働

認証認定は、3 年間組織に関わることによりパフォーマンスを評価しサプライチェーンの向上を推進するための価値あるツールですが、どんな既定または監視システムでも、単独では、絶対的な保証や前向きな変化の推進を提供することはできないことを認識することは重要です。全ての社会的監査の手法は、購入者と供給者の間の公正な契約上の協力、労働者と経営層のトレーニング、能力開発、ステークホルダーの関与、そしてシステムと協働を向上させるためのその他様々なツールを含む、より大きな、労働条件の向上の努力の一部として考慮する必要があります。

Social Fingerprint® : 継続的な向上

SA8000®規格は、組織がその社会的パフォーマンスの管理システムを継続的に測定し、向上させるのに役立つツールセットである、Social Fingerprint®に支えられており、それは、組織が SA8000 の管理システム要素の要件を満たすのを助けています。Social Fingerprint®は管理システム要件を 10 個のプロセスベースのカテゴリに分けています。

1. 方針、手順、記録
2. 社会的パフォーマンスチーム
3. リスクの識別と評価
4. 監視
5. 社内参加とコミュニケーション
6. 苦情管理と解決
7. 社外検証とステークホルダーの関与
8. 是正および予防措置
9. トレーニングと能力開発
10. 供給業者と請負業者の管理

次の 3 つのツールで、組織は管理システムを測定し向上することができます。

- **Social Fingerprint®自己評価**：SA8000 認証に応募する組織が完了する自己評価は、組織の管理システムの成熟度の基礎点となります。
- **Social Fingerprint®第三者評価**：認定認証機関により完了される第三者評価は、組織が自身の管理システムの長所と短所を確認するのに役立ちます。

- **格付け表**：格付け表は、上記 10 カテゴリーそれぞれにおける組織の成熟度を表します。成熟度は 5 を最高レベルとする、1～5 等級で示されます（下表参照）。その結果から、組織が向上させるべき領域を認識することができます。
 5. システムの**継続的向上**をとまなう、開発され実施される**成熟した管理システム**
 4. **継続的・定期的**に実施される、開発された管理システム
 3. 開発された管理システム、ただし**完全に実施されていない**
 2. 部分的に開発された管理システム、ただし実施は**受身的**で、**一貫性がなく**、大部分は**効果がない**
 1. SA8000 についての**認識がなく**、それに代わる社会的パフォーマンスを管理するためのシステムがまったくない

SA8000 認証プロセス

SA8000 認証プロセスの最初のステップとして、応募者の組織は、オンライン管理システム自己評価を行います。Social Fingerprint®自己評価は、組織が SA8000 の管理システム要件と、組織が認証に応募する準備ができていかどうかを理解するのに役立ちます。組織が、その管理方法が認証を求めるのに十分なほど成熟していると考えた場合、20 以上の独立した **SAAS 認定認証団体**の一つを選び、協力して完全な評価プロセスを開始します。各認定認証団体は独立運営されており、SAI は、料金の見積もりを取るために、応募組織が様々な認証団体に連絡することを勧めています。

認証団体の SA8000®規格に照らした評価は、文書の検討、労働慣習、従業員のインタビューへの回答、業務記録で構成されます。認証団体が、その組織が必要な行動と規格に準拠するための改善を実施していると判断すれば、SA8000 認証を与えます。それは、組織がその達成を公表するために使用することができます。

それに続く現場モニタリング—通常一年に二度行われる、通知訪問と非通知訪問の組み合わせ—により、組織の管理プロセスが、SA8000 の社会的パフォーマンス要件を達成し続けていることを保証します。SA8000 認証は、継続的な監視監査評価を条件として、3 年間有効です。また、組織は 3 年目の最後に SA8000 の再認証を受けることができます。

SA8000 認証：はじめに

ステップ 1：Social Fingerprint®自己評価

SAI のオンライン [トレーニングセンター](#) で Social Fingerprint®の自己評価を行うには、以下から言語を選んで指示に従ってください：

所要時間：60–90 分

料金：USD300*

キー名：認定認証団体が既に決まっている場合は、連絡して、その団体固有の SAI トレーニングセンター用キー名をご確認ください。認証団体がまだ決まっていない場合は、キー名 *SA8000SF* をご使用ください。

ステップ2：認定認証団体への連絡

あなたの組織の自己評価が完了したら、あなたの組織の社会的パフォーマンスと管理システムを SA8000®規格に照らして評価する [認定認証団体](#) に連絡してください。認定は SA8000 プログラムに不可欠な部分で、認定認証団体のみが、公認 SA8000 認証を与えることができます。

認定団体は、最初のステージ1 監査を行い、組織の SA8000 の準備ができているかを評価します（通常 1-2 日かかります）。ステージ2 に進む組織は、完全な認証監査を受けます。これには、組織の規模や範囲によって、2-10 日かかります。両方のステージで、認証団体は、組織が自身の管理システムの長所と短所を認識するのに役立つ Social Fingerprint® 第三者評価を行います。

ステップ3：現場監視モニタリング

組織に SA8000 認証が与えられた場合、引き続き、通常一年に二度行われる、通知訪問と非通知訪問を組み合わせた、現場監視モニタリングを受けます。経時的な改善を追跡するため、第三者評価は、三年間の認証サイクル中の選択した監視監査の間にも行われます。SA8000 認証は3年間有効で、組織は3年目の最後に SA8000 の再認証を受けることができます。

Social Fingerprint 自己評価と第三者評価がどのように SA8000 認証サイクルに統合されているかを確認するには、[ここをクリック](#)してください。

**SAI トレーニングセンターでクレジットカードで支払うことができます。銀行振り込みを希望される場合は、sa8000@sa-intl.org までご連絡ください。銀行振り込みは、処理に3-5 日かかる場合があります、自己評価はその後で始めることができます。*

詳細は、[SAI ウェブサイト](#) をご覧ください。